

別紙②

I. 和泉市の高齢者等の状況	P1 ~ P2
II. 地域包括支援センターの活動状況について	
II-1. 令和7年度12月末時点 地域包括支援センターの活動について	P3 ~ P13
II-2. 令和7年度12月末時点 基幹型地域包括支援センターの活動について	P14 ~ P15
II-3. 令和7年度12月末時点 認知症機能強化型地域包括支援センターの 活動状況について	P16 ~ P18
II-4. 令和7年度12月末時点 認知症地域支援推進員の活動状況について	P19 ~ P21
II-5. 令和7年度12月末時点 生活支援コーディネーター事業の活動状況について	P22 ~ P25

I. 和泉市の高齢者等の状況

各年度3月末現在

1. 生活圏域別高齢者人口と高齢化率

資料：和泉市住民登録人口調

(1) 65歳以上人口 (人)

	令和5年度	令和6年度	令和7年11月末
圏域1	10,257	10,205	10,162
圏域2	13,256	13,404	13,494
圏域3	11,401	11,678	11,832
圏域4	12,801	12,774	12,799
男女計	47,715	48,061	48,287

(2) 高齢化率（人口に対する65歳以上高齢者の割合） (%)

		令和5年度	令和6年度	令和7年11月末
圏域1	信太	30.6	30.8	31.0
	富秋	31.3	30.9	30.8
圏域2	郷荘	27.6	28.2	28.6
	和泉	25.0	25.2	25.4
圏域3	郷荘	29.6	30.8	30.2
	石尾	20.5	20.8	21.2
	北池田	24.5	25.3	25.7
圏域4	光明台	30.1	30.7	31.2
	南松尾はつが野	20.4	17.0	16.7
	南池田	21.2	21.8	21.9
	槇尾	41.4	41.2	41.5
計		26.1	26.4	26.6

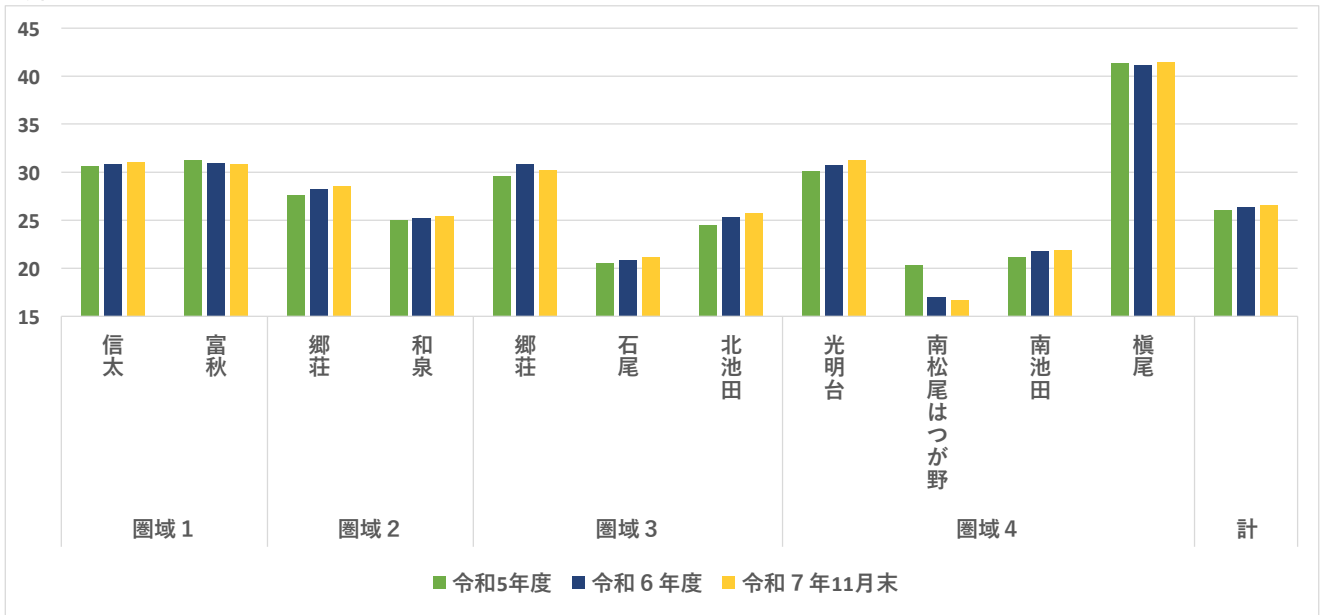
圏域1
= 30.9%圏域2
= 26.8%圏域3
= 23.9%圏域4
= 26.3%

(3) 75歳以上の割合 (%)

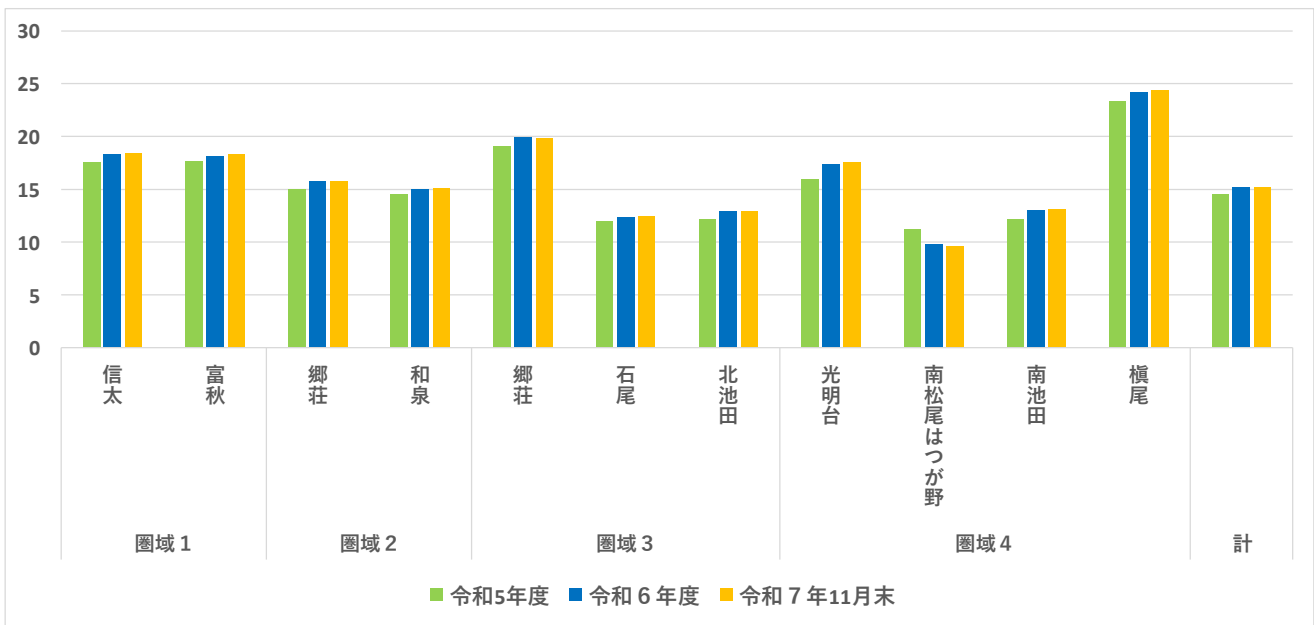
		令和5年度	令和6年度	令和7年11月末
圏域1	信太	17.6	18.3	18.4
	富秋	17.7	18.1	18.3
圏域2	郷荘	15.0	15.8	15.8
	和泉	14.5	15.0	15.1
圏域3	郷荘	19.1	19.9	19.8
	石尾	12.0	12.4	12.5
	北池田	12.2	12.9	12.9
圏域4	光明台	16.0	17.4	17.6
	南松尾はつが野	11.2	9.8	9.6
	南池田	12.2	13.0	13.1
	槇尾	23.3	24.2	24.4
計		14.6	15.2	15.2

圏域1
= 18.4%圏域2
= 15.4%圏域3
= 13.0%圏域4
= 15.2%

高齢化率



75歳以上高齢者の割合



分析など

- 高齢者数
市全体として増加傾向。
- 高齢化率
和泉市は中心部を中心に若い世代の流入があり、国や府の値よりも低くなっている。
〈65歳以上〉全国：29.3% 大阪府：27.6%（R6.10.1時点） 和泉市：26.6%（令R7.11 末時点）
〈75歳以上〉全国：16.8% 大阪府：16.7%（R6.10.1時点） 和泉市：15.2%（令R7.11 末時点）
- 経年比較
高齢化率は毎年右肩上がり。特に、後期高齢者の比率が大きくなっているが、R7.11末時点は横ばい。
- 地域差
槇尾中学校区は高齢化率が40%を超え、第1圏域の信太、富秋、第3圏域の郷荘（寺田町）、第4圏域の光明台が30%程度となっている。

Ⅱ. 地域包括支援センターの活動状況について

Ⅱ-1. 令和7年度12月末時点 地域包括支援センターの活動について

1. 総合相談支援業務

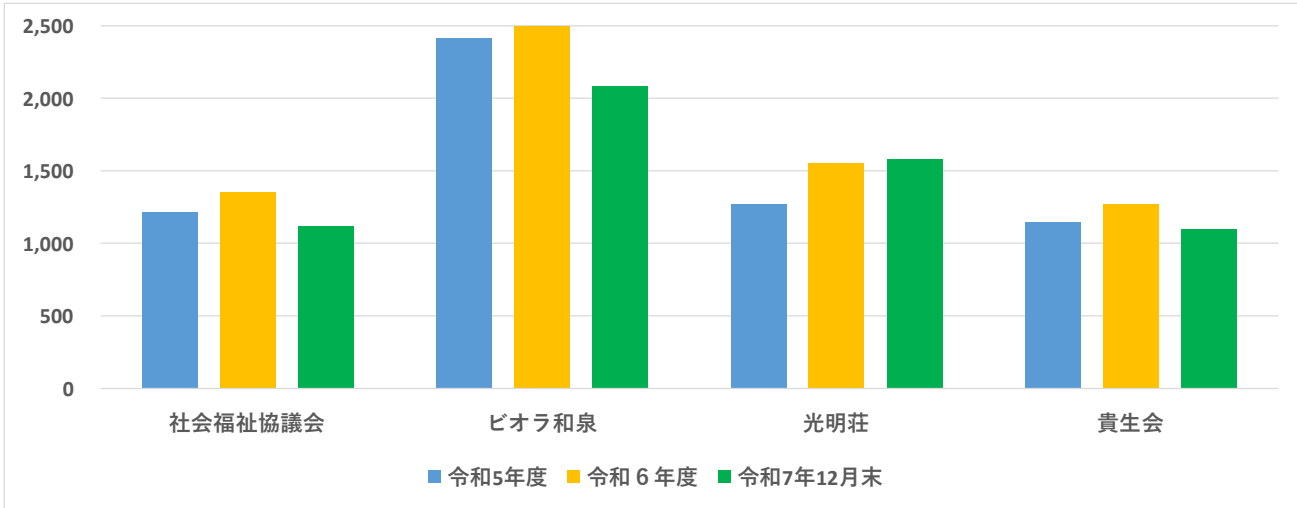
(1) 相談件数 (延)

	令和5年度	令和6年度	令和7年12月末
社会福祉協議会	1,214 件	1,352 件	1,122 件
ピオラ和泉	2,415 件	2,515 件	2,083 件
光明荘	1,273 件	1,555 件	1,581 件
貴生会	1,145 件	1,273 件	1,099 件
計	6,047 件	6,695 件	5,885 件

(2) 相談件数 令和7年度12月末 内訳(延)

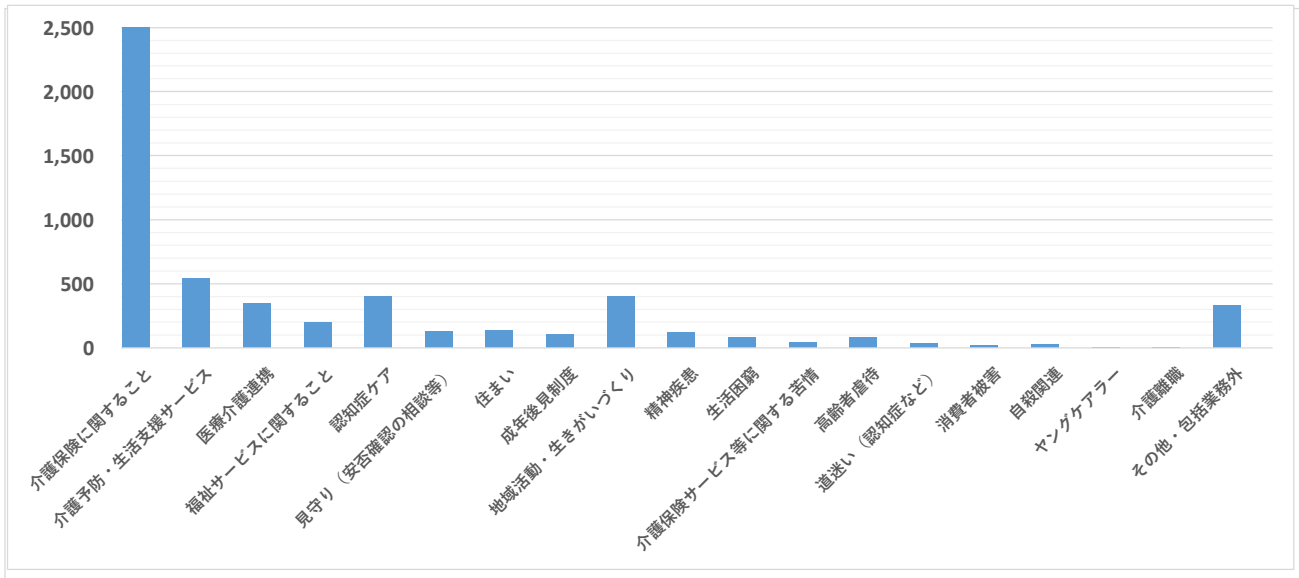
	社会福祉協議会	ピオラ和泉	光明荘	貴生会	合計
介護保険に関すること	623 件	912 件	702 件	648 件	2,885 件
介護予防・生活支援サービス	78 件	276 件	163 件	25 件	542 件
医療介護連携	64 件	79 件	150 件	56 件	349 件
福祉サービスに関すること	52 件	48 件	62 件	40 件	202 件
認知症ケア	42 件	235 件	81 件	40 件	398 件
見守り(安否確認の相談等)	26 件	28 件	39 件	39 件	132 件
住まい	29 件	22 件	45 件	41 件	137 件
成年後見制度	25 件	21 件	43 件	14 件	103 件
地域活動・生きがいづくり	1 件	307 件	84 件	6 件	398 件
精神疾患	32 件	39 件	27 件	22 件	120 件
生活困窮	24 件	27 件	21 件	9 件	81 件
介護保険サービス等に関する苦情	14 件	8 件	7 件	14 件	43 件
高齢者虐待	18 件	22 件	21 件	18 件	79 件
道迷い(認知症など)	2 件	12 件	9 件	11 件	34 件
消費者被害	4 件	7 件	5 件	3 件	19 件
自殺関連	21 件	2 件	1 件	0 件	24 件
ヤングケアラー	2 件	0 件	0 件	0 件	2 件
介護離職	2 件	2 件	0 件	0 件	4 件
その他・包括業務外	63 件	36 件	121 件	113 件	333 件
計	1,122 件	2,083 件	1,581 件	1,099 件	5,885 件

相談件数



- 高齢者が増加していることから、相談件数は基本的に右肩上がり。
- ビオラ和泉の相談ケースが非常に多くなっているが、ビオラ包括は地域に向くことも多く、相談を受ける機会が多いことから、相談を受ける機会が多いためと思われる。

相談内訳



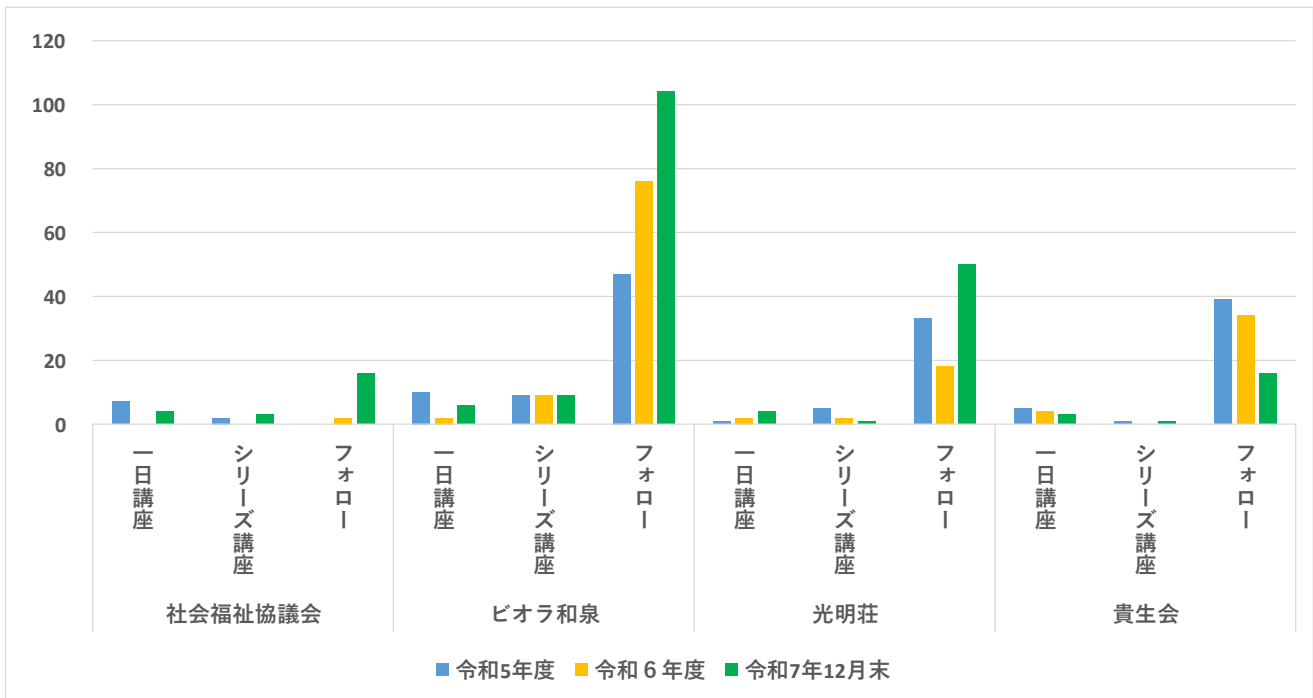
- 相談内訳は、介護保険に関することが最も多く、次に介護予防・生活支援サービス、そして認知症ケア、地域活動・生きがいつくり、医療介護連携が多い。介護や認知症問題、医療介護連携、介護予防や地域づくりに相談が集中しており、包括が相談機関として機能していただとされる。
- 特に、地域活動・生きがいつくりは、現時点で昨年度の3.2倍となっており、地域活動や社会参加といった介護予防に繋がる動きがみられる。また、昨年度下半期から各包括に認知症地域支援推進員を0.5人配置しており、総合的な相談体制の強化を図っている。

3.介護予防普及啓発業務

(1) 介護予防の普及啓発件数（延）

		令和5年度	令和6年度	令和7年12月末
社会福祉協議会	一日講座	7 件	0 件	4 件
	シリーズ講座	2 回	0 回	3 回
	フォロー	0 回	2 回	16 回
ビオラ和泉	一日講座	10 件	2 件	6 件
	シリーズ講座	9 回	9 回	9 回
	フォロー	47 回	76 回	104 回
光明荘	一日講座	1 件	2 件	4 件
	シリーズ講座	5 回	2 回	1 回
	フォロー	33 回	18 回	50 回
貴生会	一日講座	5 件	4 件	3 件
	シリーズ講座	1 回	0 回	1 回
	フォロー	39 回	34 回	16 回
計	一日講座	23 件	8 件	17 件
	シリーズ講座	17 回	11 回	14 回
	フォロー	119 回	130 回	186 回

介護予防の普及啓発件数



●昨年度に一日講座を実施した団体が、地域活動の立ち上げを支援するシリーズ講座を利用し、新規団体として活動開始に繋がっている。また、今年度は街かどデイハウスでも取り組みを開始している。

●地域差があるものの、団体活動の継続性を支援するフォロー講座の件数が増えている。

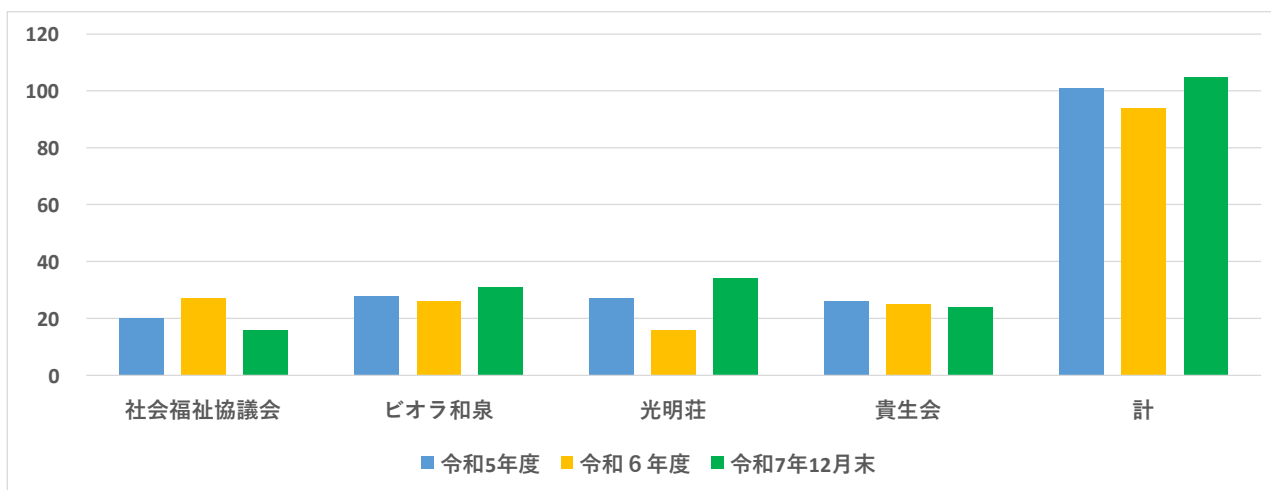
⇒引き続き、地域での介護予防に取り組んでもらえるよう、種まきとなる介護予防の周知を実施するとともに、活動団体の継続性を支援する取り組みを実施していく。

4.介護予防ケアマネジメント業務

(1) 総合事業対象者プラン作成件数（新規）

	令和5年度	令和6年度	令和7年12月末
社会福祉協議会	20 件	27 件	16 件
ピオラ和泉	28 件	26 件	31 件
光明荘	27 件	16 件	34 件
貴生会	26 件	25 件	24 件
計	101 件	94 件	105 件

総合事業対象者プラン作成件数



●総合事業の多様なサービスである、はつらつ教室、おたがいさまサポーター事業、移動支援サービス事業を利用するにあたり作成するケアプランであり、件数は微増している。

●ピオラ和泉や光明荘については、はつらつ教室へつなぐケースが伸びている。

⇒自立した生活をおくれるよう介護予防や地域資源の活性化など、総合事業の推進を図っていく。

(2) 要支援者

①プラン作成件数(新規・更新)

		令和5年度	令和6年度	令和7年12月末
社会福祉協 議会	包括	175 件	121 件	90 件
	委託	735 件	664 件	513 件
	委託率	80.8 %	84.6 %	85.1 %
ピオラ和泉	包括	31 件	7 件	4 件
	委託	805 件	659 件	765 件
	委託率	96.3 %	98.9 %	99.5 %
光明荘	包括	73 件	111 件	71 件
	委託	1,019 件	905 件	636 件
	委託率	93.3 %	89.1 %	90.0 %
貴生会	包括	81 件	47 件	20 件
	委託	1,080 件	584 件	426 件
	委託率	93.0 %	92.6 %	95.5 %
計	包括	360 件	286 件	185 件
	委託	3,639 件	2,812 件	2,340 件
	委託率	91.0 %	90.8 %	92.7 %

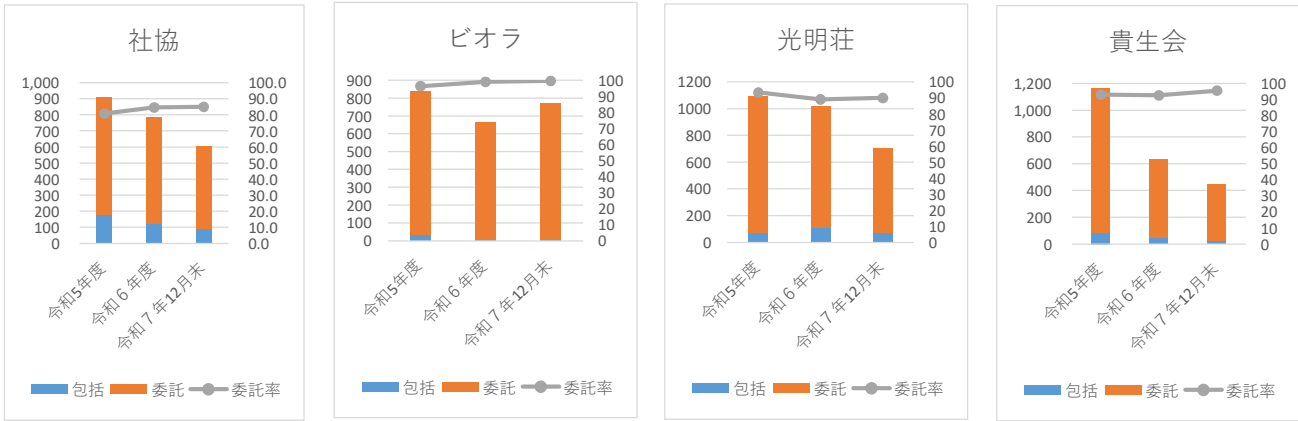
②給付管理件数(延)

		令和5年度	令和6年度	令和7年12月末
社会福祉協 議会	包括	1,628 件	1,609 件	1,016 件
	委託	4,640 件	4,641 件	3,762 件
	委託率	74.0 %	74.3 %	78.7 %
ピオラ 和泉	包括	350 件	23 件	19 件
	委託	7,551 件	7,233 件	6,090 件
	委託率	95.6 %	99.7 %	99.7 %
光明荘	包括	355 件	539 件	447 件
	委託	6,215 件	6,202 件	4,539 件
	委託率	94.6 %	92.0 %	91.0 %
貴生会	包括	454 件	465 件	323 件
	委託	7,870 件	6,476 件	4,282 件
	委託率	94.5 %	93.3 %	93.0 %
計	包括	2,787 件	2,636 件	1,805 件
	委託	26,276 件	24,552 件	18,673 件
	委託率	90.4 %	90.3 %	91.2 %

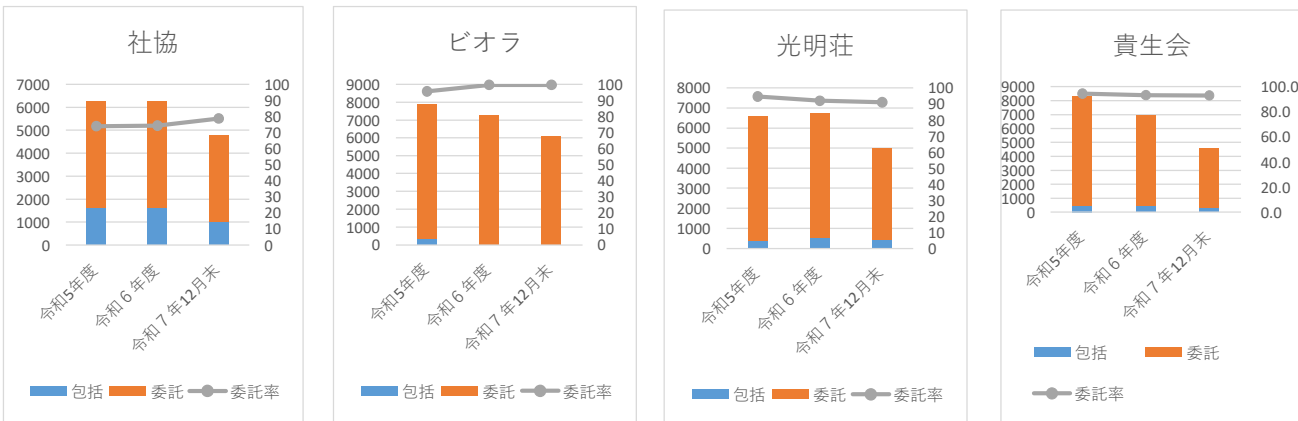
③評価件数：目標に対する効果評価件数(延)

		令和5年度	令和6年度	令和7年12月末
社会福祉協 議会	実人数	106 人	147 人	75 人
	改善	40.3 %	42.0 %	42.7 %
	維持	44.9 %	33.3 %	38.5 %
	悪化	14.8 %	24.6 %	18.9 %
ピオラ 和泉	実人数	58 人	6 人	2 人
	改善	60.2 %	50.0 %	100.0 %
	維持	25.0 %	0.0 %	0.0 %
	悪化	14.8 %	50.0 %	0.0 %
光明荘	実人数	59 人	89 人	48 人
	改善	35.3 %	37.8 %	34.8 %
	維持	39.7 %	31.6 %	39.1 %
	悪化	25.0 %	30.6 %	26.1 %
貴生会	実人数	67 人	57 人	25 人
	改善	22.4 %	20.3 %	16.1 %
	維持	56.5 %	46.4 %	51.6 %
	悪化	21.2 %	33.3 %	32.3 %

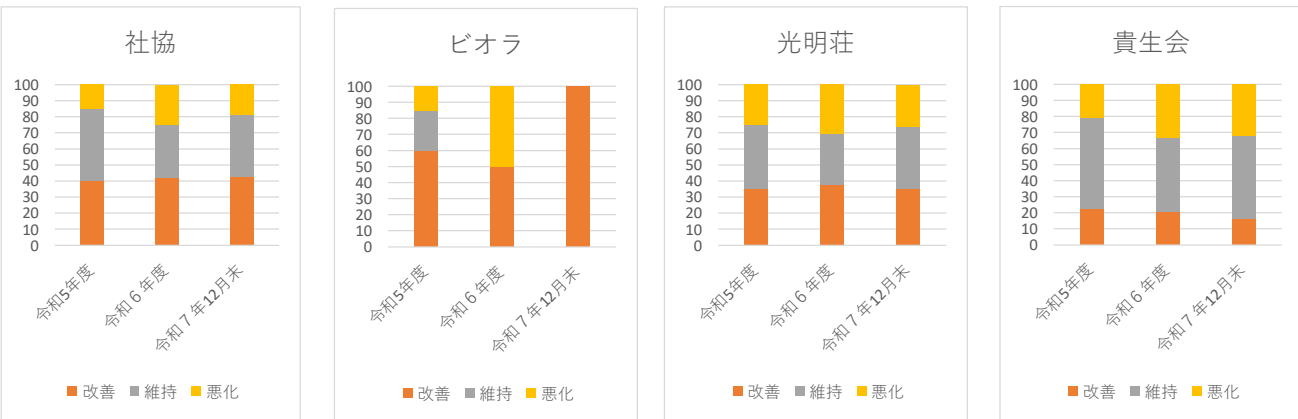
①プラン作成件数（新規・更新）



②給付管理件数（延）



③評価件数：目標に対する効果評価件数（延）



包括業務として相談ケースの増加や多様化、地域への各種事業の普及啓発活動などの必要性の増加など、多くの事業があることから包括によるプラン作成が困難になってきている。このことを受け、介護予防支援について、令和6年度から居宅介護支援事業所も市町村からの指定対象となり、ケアプラン作成が可能となっている。

- 新規、給付管理共に多くのプランを民間の居宅介護支援事業所へ再委託を行っている状況（9割以上）。
- 圏域別の再委託率をみると、新規、給付管理共にビオラ和泉が最も高く、社会福祉協議会が最も低い。
- 包括が作成したプランの目標に対する効果評価件数をみると、維持・改善が約7割を占めている。

5. 権利擁護業務（延）

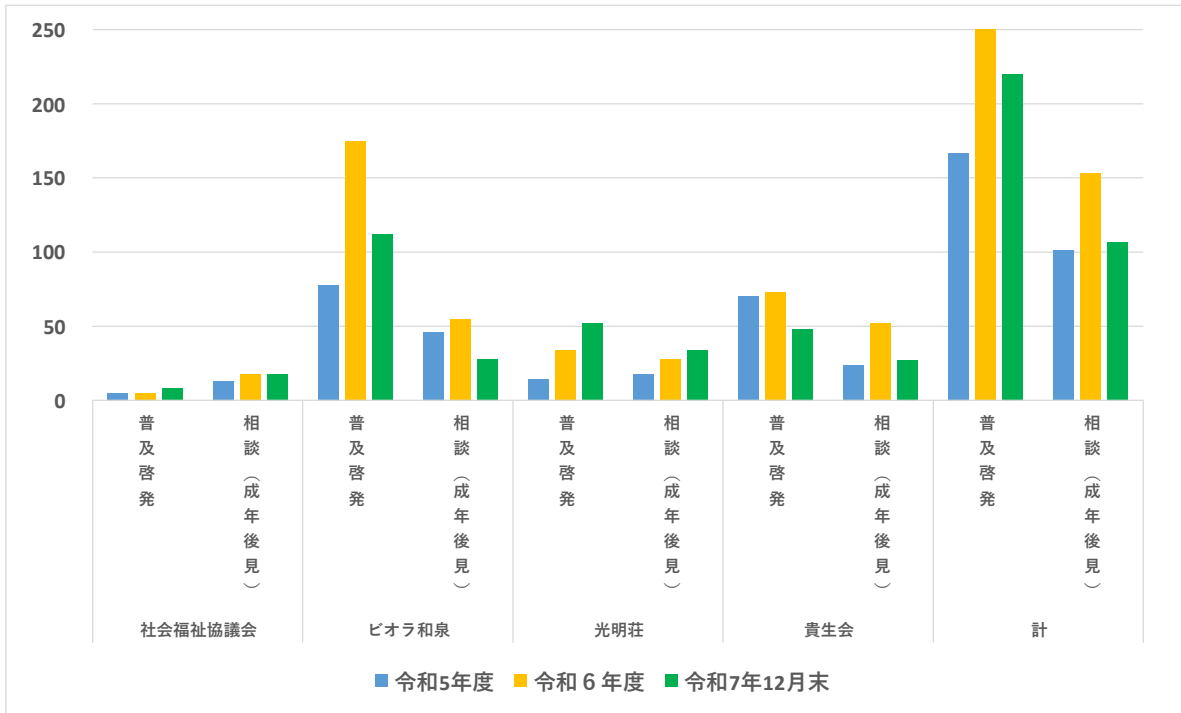
		令和5年度	令和6年度	令和7年12月末
社会福祉協議会	普及啓発	5 件	5 件	8 件
	相談（成年後見）	13 件	18 件	18 件
ピオラ和泉	普及啓発	78 件	175 件	112 件
	相談（成年後見）	46 件	55 件	28 件
光明荘	普及啓発	14 件	34 件	52 件
	相談（成年後見）	18 件	28 件	34 件
貴生会	普及啓発	70 件	73 件	48 件
	相談（成年後見）	24 件	52 件	27 件
計	普及啓発	167 件	287 件	220 件
	相談（成年後見）	101 件	153 件	107 件

※参考「虐待通報受理件数」の虐待種別内訳について（単位：件）

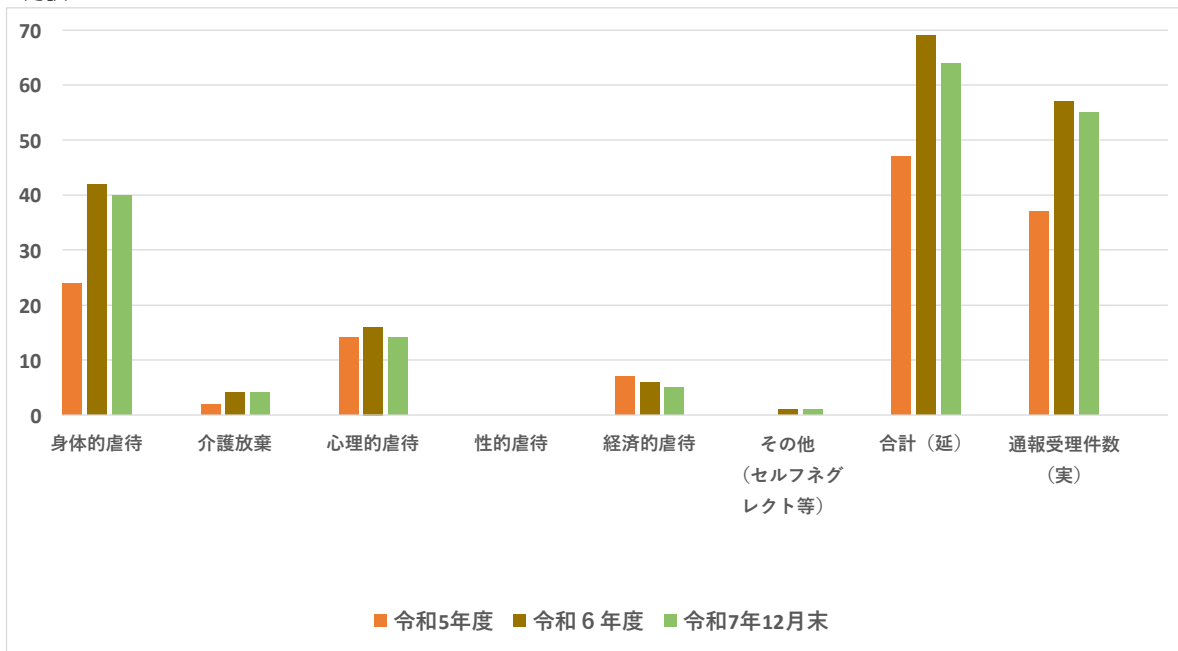
年度 種別	令和5年度	令和6年度	令和7年12月末
身体的虐待	24	42	40
介護放棄	2	4	4
心理的虐待	14	16	14
性的虐待	0	0	0
経済的虐待	7	6	5
その他 （セルフネグレクト等）	0	1	1
合計（延）	47	69	64
通報受理件数（実）	37	57	55

○通報受理件数1件に対し、複数の虐待種別が重複する場合がありますため、虐待種別の合計（延）は、通報受理件数（実）よりも多くなっています。

権利擁護業務(普及啓発、相談件数)



内訳



- 普及啓発件数の内訳として、成年後見制度24件、高齢者虐待11件、消費者被害185件で、昨年度に引き続き消費者被害防止の関心が高く、積極的に地域へ出向き注意喚起を行っている。
- 成年後見制度の相談件数は年間100件を超えており、高齢者数の増加とともに必要性は高まると予測されることから、令和6年10月より新たに設置された成年後見中核機関を設置(和泉市社会福祉協議会へ委託)と連携し、成年後見制度の周知及び市民後見人等の育成等に取り組んでいく。
- 高齢者虐待の通告件数については、昨年度に比べ現時点においても多い状況である。種別は、身体的虐待が最も多く6割を占め、次いで心理的虐待2割である。通告のあった件数のうち約2割が虐待ありと判断され、関係機関と連携のうえ集中的な支援を行っている。

6. 包括的・継続的ケアマネジメント業務

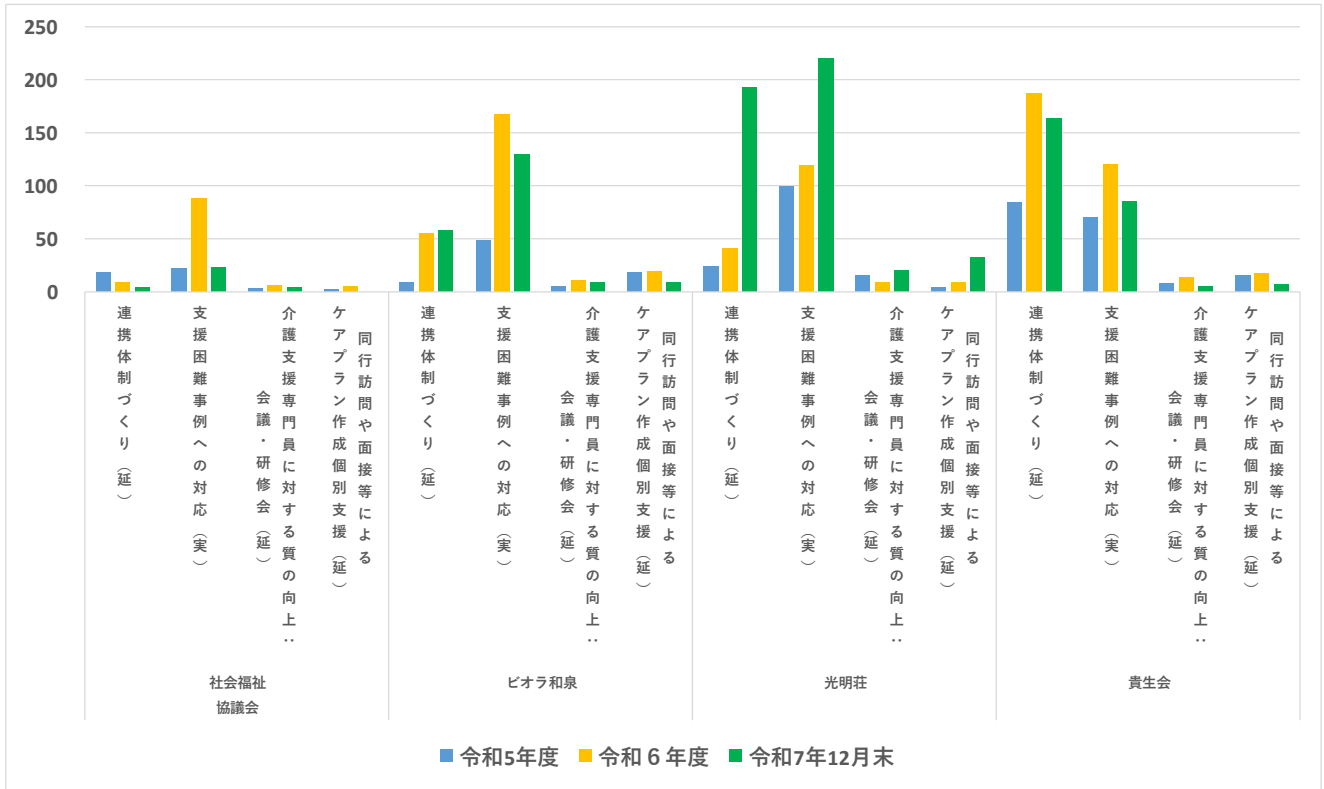
①包括的・継続的ケアマネジメント業務

		令和5年度	令和6年度	令和7年12月末
社会福祉協議会	連携体制づくり（延）	18 件	9 件	4 件
	支援困難事例への対応（実）	22 件	88 件	23 件
	介護支援専門員に対する質の向上： 会議・研修会（延）	3 件	6 件	4 件
	同行訪問や面接等による ケアプラン作成個別支援（延）	2 件	5 件	0 件
ピオラ和泉	連携体制づくり（延）	9 件	55 件	58 件
	支援困難事例への対応（実）	48 件	167 件	130 件
	介護支援専門員に対する質の向上： 会議・研修会（延）	5 件	11 件	9 件
	同行訪問や面接等による ケアプラン作成個別支援（延）	18 件	19 件	9 件
光明荘	連携体制づくり（延）	24 件	41 件	193 件
	支援困難事例への対応（実）	99 件	119 件	220 件
	介護支援専門員に対する質の向上： 会議・研修会（延）	15 件	9 件	20 件
	同行訪問や面接等による ケアプラン作成個別支援（延）	4 件	9 件	32 件
貴生会	連携体制づくり（延）	84 件	187 件	163 件
	支援困難事例への対応（実）	70 件	120 件	85 件
	介護支援専門員に対する質の向上： 会議・研修会（延）	8 件	13 件	5 件
	同行訪問や面接等による ケアプラン作成個別支援（延）	15 件	17 件	7 件
計	連携体制づくり（延）	135 件	292 件	418 件
	支援困難事例への対応（実）	239 件	494 件	458 件
	介護支援専門員に対する質の向上： 会議・研修会（延）	31 件	39 件	38 件
	同行訪問や面接等による ケアプラン作成個別支援（延）	39 件	50 件	48 件

②地域ケア会議開催件数

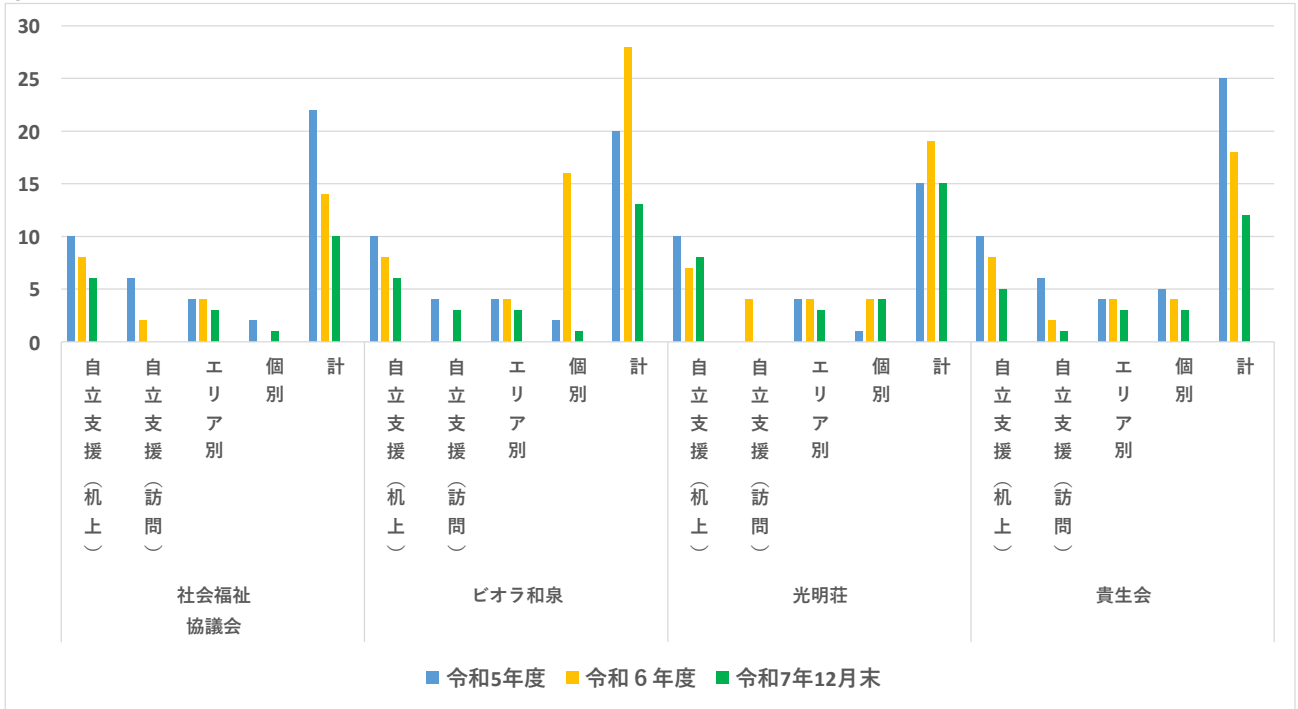
		令和5年度	令和6年度	令和7年12月末
社会福祉協議会	自立支援（机上）	10 件	8 件	6 件
	自立支援（訪問）	6 件	2 件	0 件
	エリア別	4 件	4 件	3 件
	個別	2 件	0 件	1 件
	計	22 件	14 件	10 件
ピオラ和泉	自立支援（机上）	10 件	8 件	6 件
	自立支援（訪問）	4 件	0 件	3 件
	エリア別	4 件	4 件	3 件
	個別	2 件	16 件	1 件
	計	20 件	28 件	13 件
光明荘	自立支援（机上）	10 件	7 件	8 件
	自立支援（訪問）	0 件	4 件	0 件
	エリア別	4 件	4 件	3 件
	個別	1 件	4 件	4 件
	計	15 件	19 件	15 件
貴生会	自立支援（机上）	10 件	8 件	5 件
	自立支援（訪問）	6 件	2 件	1 件
	エリア別	4 件	4 件	3 件
	個別	5 件	4 件	3 件
	計	25 件	18 件	12 件
計	自立支援（机上）	40 件	31 件	25 件
	自立支援（訪問）	16 件	8 件	4 件
	エリア別	16 件	16 件	12 件
	個別	10 件	24 件	9 件
	計	82 件	79 件	50 件

①包括的・継続的ケアマネジメント業務



- 関係機関やインフォーマルな機関、医療機関などケアマネ支援に繋がる連携体制づくりに関する「連携体制づくり」の件数が増加している。高齢者の増加に加え、高齢者のニーズが多様化してきており、連携体制づくりは重要度を増してきている。
- 支援困難事例への対応について、約8割がケアマネからの相談であり、ケアマネへの支援体制の重要度が増している。
- 介護予防支援についても、居宅介護支援事業所が直接プランを持つケースの増加が見込まれ、今後もケアマネジメントにかかるケアマネへの個別支援（アセスメント支援、ケアプラン作成支援、自立支援型地域ケア会議活用への支援など）を図っていく。
- 包括的・継続的ケアマネジメント業務について、光明荘の件数が昨年度に比べ多くなっている。これは、主任ケアマネジャーの増員によるものである。

②地域ケア会議開催件数



- 地域ケア会議の件数は、個別地域ケア会議開催数の減少により昨年度同時期より少なくなっている。実施主体である包括において、個別のケース会議から地域全体の課題へつなげる視点を深め、また開催しやすい環境づくりを図ることが求められる。
- 自立支援型地域ケア会議は減少傾向にあり、直接プランを持つ居宅介護支援事業所の増加が見込まれる中、ケアマネの介護予防マネジメント力向上の手段として効果的に活用できるよう体制整備を行っていく。

事業内容の説明

1 地域包括支援センターの職員体制

地域包括支援センターの職員体制については、法律で3職種の配置が義務づけられている。

2 総合相談支援業務

包括の職員が相談を受けた件数。生活支援コーディネーターが受けた相談数も含む。

3 介護予防普及啓発業務

包括が「いきいきいきみ体操」を地域に広めた件数。1日講座：包括がおためしで地域に普及する講座
フォロー：包括が立ち上げから半年後に体力測定などによる評価を行う

シリーズ講座：事業者が決定するまでは包括が、決定後は事業所が1日講座受講団体対象にいきいきいきみ体操活動団体本格立ち上げに向けて全3回で介護予防を啓発する講座。

4 介護予防ケアマネジメント業務

要支援者（事業対象者含む）のケアプランは法律で包括が作成することになっている（委託可能）

令和6年からは市の指定を受けた居宅介護支援事業所も介護予防支援（ケアプラン作成）が可能となった。

給付管理：要支援者の給付管理は包括が行うこととなっている給付費の支払いに関連した一連の業務。

5 権利擁護業務

成年後見制度の活用のサポートや、消費者被害、虐待対応・防止・早期発見などの高齢者の権利を守る活動

6 包括的・継続的ケアマネジメント業務

地域全体の医療・保健・介護分野の専門家から地域住民まで幅広いネットワークをつくるための活動

・自立支援（机上型）：月1回程度定期開催。理学療法士・作業療法士・管理栄養士・歯科衛生士・地域包括支援センター・ケース担当ケアマネジャー等が個別事例を自立支援の視点で検討を行っている地域ケア会議。

・自立支援（訪問型）：随時開催。個別事例について、作業療法士や管理栄養士・歯科衛生士と地域包括支援センター・ケース担当ケアマネジャー等が自宅を訪問し、対象者や家族とともに自立支援の視点で検討を行っている地域ケア会議。

・エリア別：各圏域で年間4回定期開催。地域における課題について、地域包括支援センター・基幹型地域包括支援センター・認知症機能強化型地域包括支援センター・CSW・和泉市社会福祉協議会・市、必要に応じて地域住民や関係機関が参加し検討する地域ケア会議。

・個別地域ケア会議：各圏域毎に随時開催。地域住民の日常生活における困難なことについて、本人・家族・関係機関・自治会など地域の関係者を含め検討する地域ケア会議。

II-2. 令和7年度12月末時点 基幹型地域包括支援センターの活動について（4月～12月）

1. 基幹型地域包括支援センターの職員体制

職種	常勤換算	業務比率	
		本来業務	その他業務
社会福祉士	1人	91 %	9 %

2. 基幹型地域包括支援センターの活動状況

(1) 後方支援の具体的取り組みについて

○介護予防普及啓発業務

<実施内容・結果>

①健康まつりやシニア運動会など、4包括合同で行う行事に関し、企画や準備に携わり、当日の役割分担やイベントが滞りなく遂行できるよう調整をした。幅広い世代の参加者に対し、介護予防や認知症予防、包括の取り組み全般を周知できた。
②包括が啓発活動を展開しやすいよう、民生委員や校区社協の代表者名簿、地域のサロン状況一覧を入手し、各包括に提供した。

<事業計画策定に向けて課題>

市域全体や地域ごとの集まりやイベントが開催されており、包括の各取り組みを周知できる機会は増えている。対象を高齢者だけに絞らず、子世代・孫世代にも届くような内容を考えつつ、他団体との連携を強化しながら普及啓発していく。

○介護予防ケアマネジメント業務

<実施内容・結果>

①介護予防事業のうち、訪問系の各事業の対象者や目的を明確にして活用しやすくするため、市と調整して事業一覧表を作成してもらい、包括に共有し事業の整理を行った。
②介護予防ケアマネジメント会議にて、積年課題となっているケアマネジメントの「質の担保」につながる取り組みとして、プランチェックや研修の在り方を見直すとともに、付随するマニュアル改訂について意見を出し合った。

<事業計画策定に向けての課題>

包括が直面するケアマネジメントに関する課題を市と包括によるプロジェクトチームで協議し、多機関にも意見聞き取りを行い具体策を講じる。また、4包括統一で改定が必要な書類作成や取り決めを調整する。

○権利擁護業務

<実施内容・結果>

①成年後見制度の利用促進に関し、4包括と基幹包括が分担して運営会議や協議会に出席しつつ、いずみ成年後見人サポートセンターとの事業連携がスムーズにいくよう調整した。また、法務省から制度改正の中間試案が発表されたため、その内容を読み解き、一覧にして社会福祉士と共有した。
②高齢者虐待においては、各包括から虐待グレーケースの相談を4件応じ、適宜対応策と一緒に考えた。虐待事案に関しては、虐待防止法に基づく対応は終了したものの、関係性の悪化で再発するケースや見守り支援で継続することも多く、支援に終わりが見えないため包括だけで抱え込まないよう、他機関や地域の協力を得てネットワーク支援体制の構築を促している。

<事業計画策定に向けての課題>

成年後見制度の抜本改正などに即座に対応できるよう、情報を常に更新し、各包括や関係機関に率先して情報提供する。また、虐待グレーケースの進捗管理を行い、助言するなどして後方支援する。

○包括的・継続的ケアマネジメント業務

<実施内容・結果>

①4包括の主任介護支援専門員による法定外研修が行われるにあたり、資料の事前確認や研修補助など後方支援した。
②民生委員大会において地域包括ケアシステムの概要を伝え、民生委員もネットワークの一員として包括との連携強化を依頼した。

<事業計画策定に向けての課題>

ケアマネジメントの動向やICT・デジタル化の流れなどに即座に対応できるよう、情報を常に更新し、各包括や関係機関に率先して情報提供する。そのために、内外研修等を活用し、基幹型包括として対応力向上に努める。

○多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築(地域ケア会議の推進)

<実施内容・結果>

①個別地域ケア会議の積極的な開催に向け、事前相談で助言を行い、必要に応じ会議に参加しサポートしたが、昨年に比べ開催件数の増加には至らなかった。
②エリア別地域ケア会議は圏域ごとに年4回ずつ開かれるが、要点を絞った議題提出ができるよう1か月前に各包括と打合せ会議を行っている。当日は参加機関それぞれが情報共有し、できることについて有機的に話し合いが行われている。

<事業計画策定に向けての課題>

第9期計画の目標値を意識しつつ各包括に地域ケア会議の開催を促すとともに、事前相談で助言したり、同席サポートを行う。個々の課題が地域全体の課題や社会資源開発の検討へと発展していけるようエリア別地域ケア会議運営を後方支援する。

(2)開催会議

主任介護支援専門員関係	基幹ヒアリング	3回
社会福祉士関係	基幹ヒアリング	3回
保健師等関係	基幹ヒアリング	3回
包括全体	包括新任職員向け研修(業務全般について)	3回
	新任職員3か月後プロセス評価(個人面談)	4回

(3)会議・研修出席

主任介護支援専門員関係	主任介護支援専門員連絡会	4回
	入退院連携研修	1回
	法定外研修	2回
	介護予防ケアマネジメント研修(企画会議含む)	6回
社会福祉士関係	法律相談(弁護士によるアドバイザー事業)	0回(欠席)
	高齢者虐待防止実務者会議	1回
	高齢者虐待防止ネットワーク運営会議	4回
	高齢者虐待レビュー会議	3回
	虐待グレーケース会議	3回
	後見人連携入門講座	1回
保健師等関係	介護予防活動支援会議	4回
包括全体	センター長事前打ち合わせ	2回
	センター長会議	3回
	包括運営協議会	1回
	個別地域ケア会議(会議同席)	3回
	エリア別地域ケア会議前調整会議	3回×4か所
	エリア別地域ケア会議	3回×4か所
	認知症市民フォーラム	1回
	第5次和泉市地域福祉基本・活動計画アクションプラン実践報告会	1回
包括の代表として出席	和泉市医療と介護の連携推進審議会	1回
	成年後見制度利用促進協議会運営会議	4回
	成年後見制度利用促進推進会議	2回
	民生児童委員協議会大会(打ち合わせ会議、当日講話)	3回
	認知症初期集中支援チーム検討委員会	0回(欠席)
	介護予防事業等に係る事業所選定プロポーザル審査	1回
市関係	市・強化型ミーティング	9回

(4)市民への啓発活動

健康まつり	1回
シルバー運動会	1回
光明池あしんすこやかまちフェスタ(堺市南区包括と光明荘・貴生会包括のコラボ企画)	1回
年輪大学院	1回
見守りキーホルダー啓発(ファミリーマート・障害者作業所・和泉市・包括コラボ企画)	1回

(5)相談受付

相談件数(延)	321件
相談者:	市内4包括、和泉市(高齢介護室・福祉総務課・生活福祉課・健康づくり推進室)、認知症強化型包括、他市包括、広域事業者、医療介護連携推進コーディネーター、社会福祉協議会(地域福祉係・管理運営係・障がい者基幹相談支援センター)、いずみ成年後見人サポートセンター、いきいきネット相談支援センター、民生委員児童委員協議会、ケアマネ協会和泉支部、和泉保健所、シルバー人材センター、サービス事業所、警察、運営適正化委員会、大学
内、総合事業に関連した相談・支援件数	20件

主な相談内容

<ul style="list-style-type: none"> ・包括業務や運営に関する事 ・個別ケースの相談と多機関との連携に関する事 ・地域支援、ネットワーク作りに関する事 ・法改正、請求業務の見解、WINCAREソフトに関する事 ・活動実績報告書(月報)、高齢者福祉サービスの変更に関する事 ・成年後見制度利用促進に関する事 ・医介連携、ACP、カスタマーハラスメントに関する事 ・民生委員児童委員と包括の連携強化に関する事 ・災害支援、避難行動要支援者個別計画、BCPIに関する事
--

II-3. 令和7年度12月末時点 認知症機能強化型地域包括支援センターの活動状況（4月～12月）

1. 認知症機能強化型地域包括支援センターの職員体制

職種	業務比率	
	本来業務	その他業務
認知症地域支援推進員	100 %	0 %

2. 認知症に対する正しい知識の普及啓発

(1) サポーター養成講座支援

開催場所	小・中 高校・大学	企業	地域	計	
開催件数（回）	小 15 高 3 大 1	5	15	39回	今年度も小・中学校の校長会で啓発、小学校は20校中17校の申し込みがあり、12月末には15校が実施済みとなっている。昨年度に引き続き、中学校、高校、大学でも開催した。企業や地域への講座では、各包括の認知症地域支援推進員と連携し、打合せを行い地域の意向に合わせた内容を実施した。今後も「認知症サポーター養成講座」を起点に、学校や地域、企業や地域活動など、実践につなぎ、地域全体の認知症理解を深めることを目指したい。さらに、幅広い世代へのアプローチのため、小中の保護者やだんじり団体を含む地域住民に加え、生活支援コーディネーターと共に企業や事業所へ訪問し連携を深め周知していきたい。
参加者（人）	1,320	120	386	1,826	

(2) キャラバン・メイト支援

班長会（回）	3回	キャラバン・メイト班長会では、「認知症サポーター養成講座」や「認知症サポーターステップアップ講座」について、認知症になっても住み慣れた地域で希望をもって暮らし続けることができるよう、意見交換が活発にできるようなグループワークを導入した。キャラバン・メイトの新規登録者は7名で、年度内に1回以上は講師として実践的活動ができるよう支援した。また、活動していなかったメイトに個別で連絡し活動についての思いを聞き、活動を支援することもできた。
連絡会（回）	0回	キャラバン・メイトの高齢化や現職業務との調整、スキルアップの必要性、キャラバン・メイト班長会など、一部のキャラバン・メイトに負担がかかっている現状もある。今後、ボランティア活動を意欲的に継続できるしくみを検討していきたい。

3. 市民見守り力の向上

(1) SOS声かけ見守り訓練

光明台南校区認知症高齢者等声かけ見守り勉強会	83名	光明台南校区では、地域が主催する「認知症高齢者等声かけ見守り勉強会オレンジ・ランブ上映会」企画に参画し、新しい認知症観について理解を深められるよう働きかけ、83名が参加した。各地域包括支援センターによる「和泉市地域出張型認知症講座」では、4圏域全てにおいて、令和7年度12月までに、「和泉市地域出張型認知症講座～みて語ろう（映像）、聞いて語ろう（講座）、体験して語ろう（実践）～」を12件開催した。地域で小単位の「声かけ見守り体験」を実施することを希望される声もあり、うち2件は、3種類ある講座の中で最も実施的である「体験して語ろう」講座であり、困っている人への声かけ体験を行っている。
------------------------	-----	---

(2) チームオレンジの構築

ステップアップ講座開催数	1回	ステップアップ講座、認知症パートナー交流会を「新しい認知症観」を踏まえた内容で実施した。今後の認知症パートナーとしての活動に繋げるため、認知症パートナーからの活動内容やチームオレンジ立ち上げに関する発表を取り入れることで、認知症を「わがこと」と考え、ともに支え合えるまちづくりを目指した内容となった。各包括の認知症地域支援推進員と共にチームオレンジへ訪問し啓発する等、協働し、その結果、認知症パートナー数、チームオレンジともに増加している。
認知症パートナー交流会開催数	2回	
チーム立ち上げ総数	113件	
認知症パートナー数（累積）	318人	

4. 認知症医療介護連携

もの忘れ相談会	7回	もの忘れ相談会は12月末時点で相談利用者数24人であり、地域包括支援センターなどの相談機関へ繋がるきっかけとなっている。
初期集中支援	7回	初期集中支援チーム会議は12月末までに7回実施し、初期集中支援事例3件（延8件）、相談ケース8件の支援を検討した。
その他	3回	初期集中検討委員会を6月に開催し、初期集中支援早急対応の実施について提案し、支援に従事する専門職の同意を得て今年度から実施している。また、サポート医連絡会では認知症サポーターステップアップ講座やもの忘れ相談会について目的や実施計画などを共有し、次年度も計画的に年2回開催することとなった。

*初期集中検討委員会、サポート医連絡会2回

5. 認知症ケアの質向上

研修・講座等開催	13回	「包括職員新人研修」「初期集中支援伝達研修」「カフェボランティア研修」、小中学校教員向け冬季自主研修「福祉教育」を実施している。また、「ケアマネ連絡会」「エリア別地域ケア会議」に参加し、認知症初期集中支援事業の効果的な活用について周知した。また、「認知症関連専門職及びボランティア研修」ではおおさか希望大使（認知症本人大使）の森井洋一郎氏とパートナーの原美穂子氏の登壇を企画しており、当事者の経験や思いを聴く講座内容を予定している。 市民フォーラムでは、大阪公立大学大学院特任教授 中西亜紀氏の基調講演と市長や認知症地域支援推進員が登壇し意見交換会を行い、129名が参加した。 資質向上や認知症地域支援推進員間の連携強化を目的に「学校地域家庭がつながる福祉教育」「認知症地域支援推進員新人研修」「認知症地域支援推進員現任研修」「チームオレンジコーディネーター研修」などを受講した。
----------	-----	--

6. 本人・家族支援

オレンジカフェ関連 (施設カフェ・まちカフェ)	112回	今年度実施中の施設カフェ、まちカフェに参加している。参加される方も徐々に増え、席の確保が難しい状況になるほど盛況なカフェもある。公的施設を活用したふらっとカフェでは参加者が少ない状況が続いていたため、「簡単な手話講座」や認知症に関する「絵本の朗読」を実施し、参加者に喜んでもらうことができた。今後はふらっとカフェの周知を図るとともに参加しやすいイベントを行うなど企画を充実し活性化していきたい。
家族会関連	4回	家族会は、社会福祉協議会が開催している「ほっこりきらく会」や隔月開催のなごみ会（桃大主催）に参加した。
その他 (ふらっとカフェ)	6回	

7. 地域包括支援センターの認知症施策に関する統括業務

<p>認知症地域支援推進員連絡会にて、各地域包括支援センターの推進員と情報共有し、地域の現状や活動状況などの共通理解を深めている。認知症地域支援推進員の働きかけて、チームオレンジが113チームとなり、認知症機能強化型地域包括支援センターも地域で展開されている活動の場に訪問し、推進員や地域素の相互理解・連携に努めている。また、地域活動の場は新しい認知症観の理解を深める機会となることから、SOSおかえりネットワーク協力者の登録依頼、ケアパスなどの和泉市の認知症施策の情報提供や啓発を行っている。</p> <p>今年度は、長年キャラバン・メイトとして活躍されている方のお力添えもあり、初めての試みとして、和泉市小中学校の教員向けに「福祉教育の必要性」を伝えるための研修を行い、横のつながりを広げることができた。現在、認知症当事者の会や家族会が開催されている事を踏まえ、認知症地域支援推進員と地域の状況を把握し、認知症当事者や家族が中心となり活動できる場を増やしていきたい。</p>		
---	--	--

8. 会議出席状況（出席した会議のみ記載）

包括全体	<ul style="list-style-type: none"> エリア別地域ケア会議（第1圏域）1回 エリア別地域ケア会議（第2圏域）1回 エリア別地域ケア会議（第3圏域）1回 エリア別地域ケア会議（第4圏域）1回 包括・強化型合同会議 9回 包括運営協議会 1回 	14回
市	・市／強化型ミーティング	7回
その他	・認知症支え“愛”を考えるまちづくり連絡会	1回

9. 関係者からの相談件数

内) 対応の件数 (延) : 対応方法別	訪問	電話	面接	他	計
	9 件	46 件	4 件	6 件	65 件

⇒ 相談者

地域包括支援センター	28 件	サービス事業所	5 件	住民組織団体	3 件
社会福祉協議会	9 件	医療機関	0 件	その他	11 件
CSW	2 件	民生児童委員	1 件		
居宅介護支援事業所	3 件	認知症関連 ボランティア	3 件		

⇒ 相談内容<内: 相談件数(延)>

サポーター養成	15 件	認知症ケア	7 件	その他	12 件
キャラバンメイト	1 件	認知症カフェ	12 件	計 65 件	
医療介護連携	12 件	福祉サービス	1 件		
見守り力	4 件	介護保険関連	1 件		

地域包括支援センターからの相談が28件と最も多く、内容としては「認知症サポーター養成講座」や「医療介護連携」、「認知症カフェ」についての相談が多かった。今年度は、初期集中支援チーム員会議での早急対応が始動したことで、同行訪問の依頼が増えた。また、オレンジカフェなどで、認知症機能強化型地域包括支援センターの機能について周知していることから、地域の方からも11件の相談があり、地域との繋がりを実感している。

各包括の認知症地域支援推進員やキャラバン・メイトからは、講座内容についての相談が多く、連携を図りながら実施できている。今後も、様々な機関や地域と連携を図りながら、相談しやすい体制を整え、地域や関係する機関、認知症地域支援推進員、認知症機能強化型で共有していく。

Ⅱ-4. 令和7年度12月末時点 認知症地域支援推進員の活動状況について（4月～12月）

1. 認知症医療介護連携（初期集中支援チーム員事業）

		令和6年度	令和7年12月末
社会福祉協議会	事前調整・打合せ	2 回	2 回
	参加	4 回	4 回
ピオラ和泉	事前調整・打合せ	1 回	3 回
	参加	1 回	6 回
光明荘	事前調整・打合せ	0 回	1 回
	参加	1 回	3 回
貴生会	事前調整・打合せ	1 回	4 回
	参加	3 回	3 回
計	事前調整・打合せ	4 回	10 回
	参加	9 回	16 回

●令和6年度下半期から、各包括に認知症地域支援推進員0.5人配置され、認知症医療介護連携に係る実績は増加しており、活動の機会が増えている。

2. 市民見守り力の向上

（1）地域の企業へのアプローチ

		令和6年度	令和7年12月末
社会福祉協議会	訪問の実施回数	8 件	2 件
	アンケートの実施	8 件	0 件
ピオラ和泉	訪問の実施回数	8 件	1 件
	アンケートの実施	8 件	0 件
光明荘	訪問の実施回数	4 件	0 件
	アンケートの実施	2 件	0 件
貴生会	訪問の実施回数	7 件	3 件
	アンケートの実施	9 件	0 件
計	訪問の実施回数	27 件	6 件
	アンケートの実施	27 件	0 件

●企業へのアプローチに関しては生活支援コーディネーターとの協働が必須であり、連携体制を整えている段階なため、受動的な関わりとなっていることから実績が減少している。今後、生活支援コーディネーターや包括連携協定企業との連携強化などを通じ、働く世代へのアプローチや、地域資源として機能できるよう積極的な取り組みが必要と考える。

(2) チームオレンジの構築・地域の事業所との関係構築

		令和6年度		令和7年12月末	
社会福祉協議会	ニーズ収集団体数	2	件	0	件
	個別ニーズ収集人数	3	件	0	件
	ステップアップ講座参加促し数	4	回	12	回
	認知症パートナー連絡会参加促し数	10	回	0	回
	チーム立上げ支援件数	2	回	3	回
	出張講座の実施回数	0	回	3	回
	チームオレンジへの訪問件数	1	件	0	件
ピオラ和泉	ニーズ収集団体数	7	件	8	件
	個別ニーズ収集人数	0	件	11	件
	ステップアップ講座参加促し数	43	回	10	回
	認知症パートナー連絡会参加促し数	20	回	7	回
	チーム立上げ支援件数	48	回	11	回
	出張講座の実施回数	1	回	3	回
	チームオレンジへの訪問件数	36	件	66	件
光明荘	ニーズ収集団体数	6	件	12	件
	個別ニーズ収集人数	0	件	1	件
	ステップアップ講座参加促し数	0	回	7	回
	認知症パートナー連絡会参加促し数	0	回	0	回
	チーム立上げ支援件数	1	回	7	回
	出張講座の実施回数	1	回	3	回
	チームオレンジへの訪問件数	2	件	8	件
貴生会	ニーズ収集団体数	0	件	7	件
	個別ニーズ収集人数	0	件	3	件
	ステップアップ講座参加促し数	4	回	8	回
	認知症パートナー連絡会参加促し数	0	回	1	回
	チーム立上げ支援件数	2	回	3	回
	出張講座の実施回数	0	回	6	回
	チームオレンジへの訪問件数	4	件	14	件
計	ニーズ収集団体数	15	件	27	件
	個別ニーズ収集人数	3	件	15	件
	ステップアップ講座参加促し数	51	回	37	回
	認知症パートナー連絡会参加促し数	30	回	8	回
	チーム立上げ支援件数	53	回	24	回
	出張講座の実施回数	2	回	15	回
	チームオレンジへの訪問件数	43	件	88	件

- チームオレンジ立ち上げ支援の実績を着実に積み上げている。地域の団体へステップアップ講座への参加を促すなど、チームオレンジ参画に向けた働きかけを継続して行えている。
- 出張講座の実施回数が増えており、認知症地域支援推進員が地域へ出向くことで、地域での認知症の方への支援や正しい理解についての関心が高まっていると考える。

3. 本人・家族支援

		令和6年度	令和7年12月末
社会福祉協議会	オレンジカフェ関連	2 件	0 件
	家族会関連	3 件	1 件
	その他	3 件	4 件
ピオラ和泉	オレンジカフェ関連	7 件	4 件
	家族会関連	9 件	4 件
	その他	5 件	30 件
光明荘	オレンジカフェ関連	2 件	3 件
	家族会関連	3 件	7 件
	その他	0 件	2 件
貴生会	オレンジカフェ関連	4 件	6 件
	家族会関連	6 件	9 件
	その他	4 件	3 件
計	オレンジカフェ関連	15 件	13 件
	家族会関連	21 件	21 件
	その他	12 件	39 件

●オレンジカフェ関連の実績は微増傾向にあり、各拠点での活動との接点が着実に構築されつつある。各拠点が地域資源として機能し始めており、点から線へとつなぎ、地域の実状に応じた地域共生社会のきっかけとなる有機的な場へと発展していけるよう地域とカフェをつなげる働きかけを行っていくことが今後の課題である。

●その他の内訳として、認知症当事者及び家族等への個別支援の件数が一番多く、いきいきいずみ体操はじめ地域の様々なイベントへの同行支援や、当事者の会の企画・参加などが含まれており、個別や地域の状況に応じ柔軟に活動を行っている。

II-5. 令和7年度12月末時点 生活支援コーディネーター事業の活動状況について（4月～12月）

1. 地域におけるネットワークの構築

(1) 構築件数

		令和5年度	令和6年度	令和7年12月末
社会福祉協議会	地域の社会資源の開発	0 件	0 件	1 件
	見守りネットの開発	0 件	3 件	7 件
	その他	1 件	0 件	2 件
ピオラ和泉	地域の社会資源の開発	3 件	12 件	7 件
	見守りネットの開発	7 件	11 件	10 件
	その他	0 件	2 件	6 件
光明荘	地域の社会資源の開発	3 件	0 件	14 件
	見守りネットの開発	1 件	20 件	0 件
	その他	0 件	0 件	4 件
貴生会	地域の社会資源の開発	1 件	1 件	0 件
	見守りネットの開発	1 件	1 件	10 件
	その他	10 件	2 件	1 件
計	地域の社会資源の開発	7 件	13 件	22 件
	見守りネットの開発	9 件	35 件	27 件
	その他	11 件	4 件	13 件

生活支援コーディネーター：

高齢者の生活支援・介護予防の基盤整備を推進していくことを目的とし、地域において、生活支援および介護予防サービスの提供体制の構築に向けたコーディネート機能を果たす者として、各包括に1名配置。

おたがいさまサポーター事業：

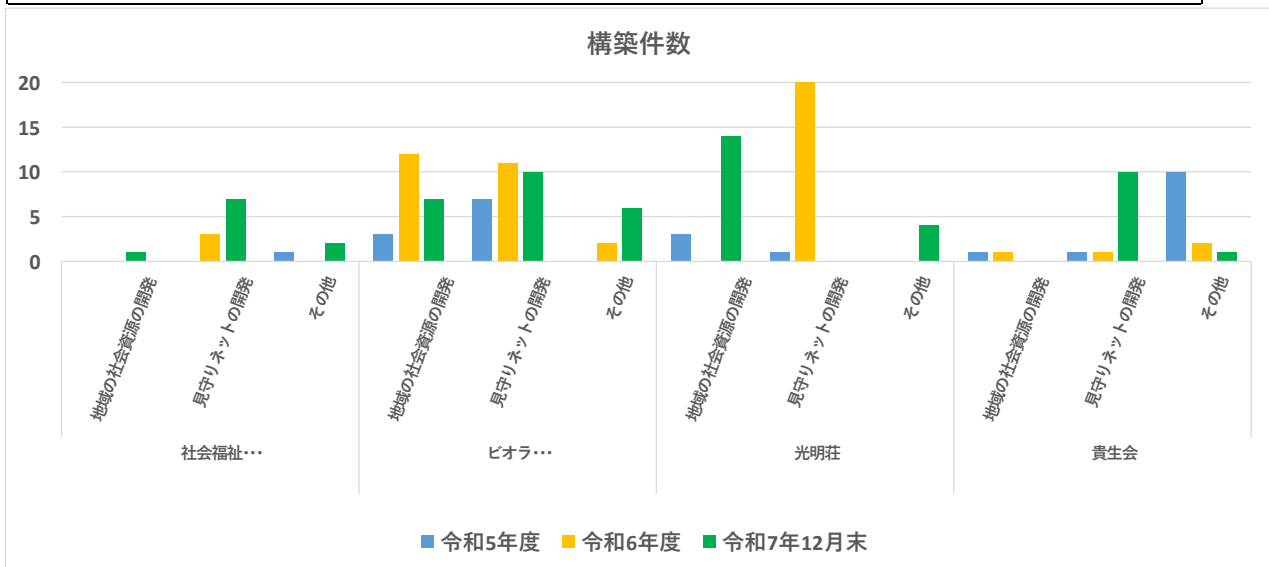
高齢者のちょっとした困りごとを解決するため、住民ボランティアを養成し、見守りを兼ねた支援を実施。

見守りネット：

民間企業等に登録してもらい、工作中に発見した気になる高齢者を地域包括支援センター等へ繋ぐ制度。

生活支援体制整備システム：

地域資源をシステムに入力し、マップ上に地域資源の見える化を行っている。地域の現状を把握し、今後の地域づくりに活用していく。



●和泉市内の福祉事業所を中心に、見守りネットの登録拡充をすすめた。

●いきいきいずみ体操の新規団体立ち上げ、移動スーパーの招致、移動支援団体の立ち上げ支援など、地域資源の開発を行った。

●生活支援体制整備システムの資源登録を継続し、合わせてケアマネージャーへインフォーマルな社会資源の周知に向け進めている。

(2) 高齢者見守り協力事業所ネットワーク（協力事業所数）

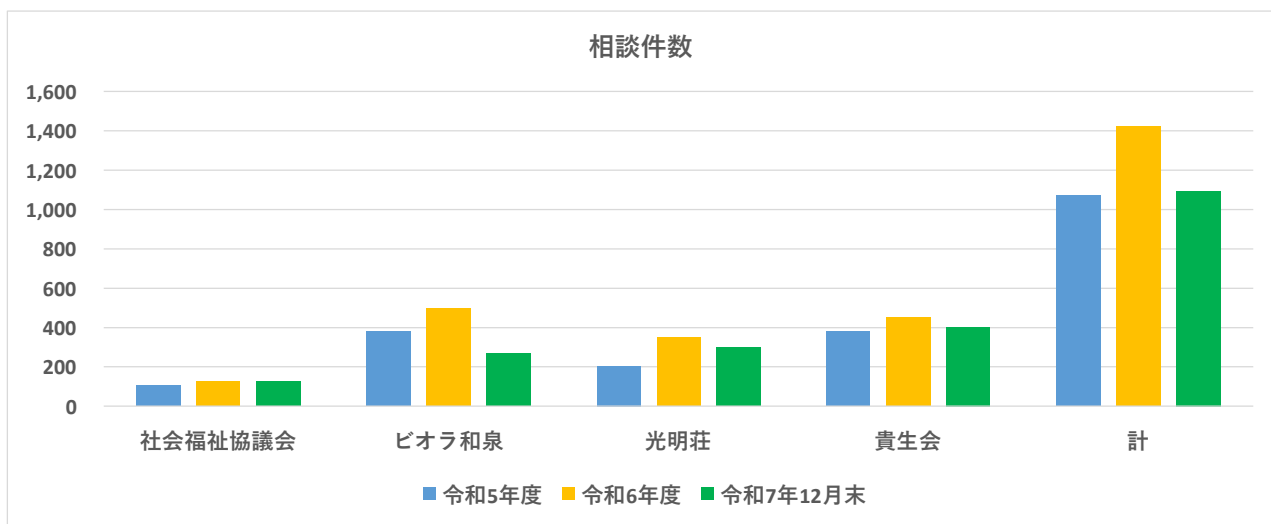
	令和5年度	令和6年度	令和7年12月末
社会福祉協議会	34 件	37 件	47 件
ピオラ和泉	60 件	74 件	82 件
光明荘	34 件	41 件	41 件
貴生会	58 件	65 件	67 件
市外	5 件	6 件	8 件
計	191 件	223 件	245 件

(3) サポーター登録件数

	令和5年度	令和6年度	令和7年12月末
社会福祉協議会	0 人	14 人	3 人
ピオラ和泉	10 人	9 人	5 人
光明荘	9 人	22 人	8 人
貴生会	25 人	18 人	7 人
計	44 人	63 人	23 人

2. 地域における相談等への対応（相談件数：延）

	令和5年度	令和6年度	令和7年12月末
社会福祉協議会	106 件	125 件	127 件
ピオラ和泉	381 件	497 件	267 件
光明荘	204 件	348 件	298 件
貴生会	380 件	452 件	403 件
計	1071 件	1422 件	1095 件



●前年度と比較して、おたがいさまサポーターの新規登録者数が減少している。新たな担い手として期待される働き手世代への周知に取り組み、見守りネットワーク事業を足掛かりとした様々な形での企業との連携を進めている。

3. おたがいさまサポーターの活動実績

(1) サポーター研修・マッチング件数

		令和5年度	令和6年度	令和7年12月末
社会福祉協議会	地域出張型（個別）研修	3 件	2 件	1 件
	マッチング件数	2 人	4 人	2 人
ピオラ和泉	地域出張型（個別）研修	3 件	2 件	5 件
	マッチング件数	1 人	6 人	21 人
光明荘	地域出張型（個別）研修	3 件	1 件	2 件
	マッチング件数	3 人	1 人	17 人
貴生会	地域出張型（個別）研修	3 件	4 件	4 件
	マッチング件数	8 人	12 人	11 人
計	地域出張型（個別）研修	12 件	9 件	12 件
	マッチング件数	14 人	23 人	51 人

(2) 登録者数・活動者数

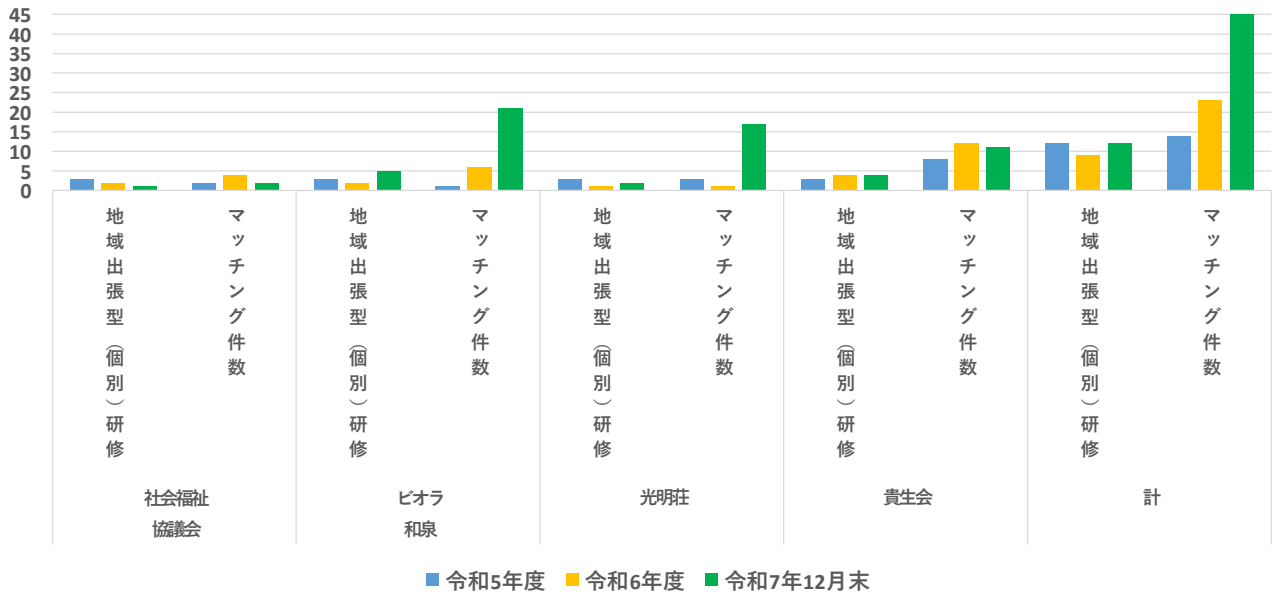
		令和5年度	令和6年度	令和7年12月末
社会福祉協議会	登録者数	36 人	42 人	46 人
	利用者数	9 人	15 人	9 人
	サポーター活動者数	10 人	23 人	13 人
ピオラ和泉	登録者数	78 人	70 人	72 人
	利用者数	15 人	10 人	10 人
	サポーター活動者数	14 人	13 人	13 人
光明荘	登録者数	82 人	104 人	111 人
	利用者数	8 人	15 人	18 人
	サポーター活動者数	8 人	23 人	21 人
貴生会	登録者数	158 人	58 人	65 人
	利用者数	26 人	19 人	20 人
	サポーター活動者数	15 人	30 人	32 人
計	登録者数	354 人	274 人	294 人
	利用者数	58 人	59 人	57 人
	サポーター活動者数	47 人	89 人	79 人

(3) 活動の内訳

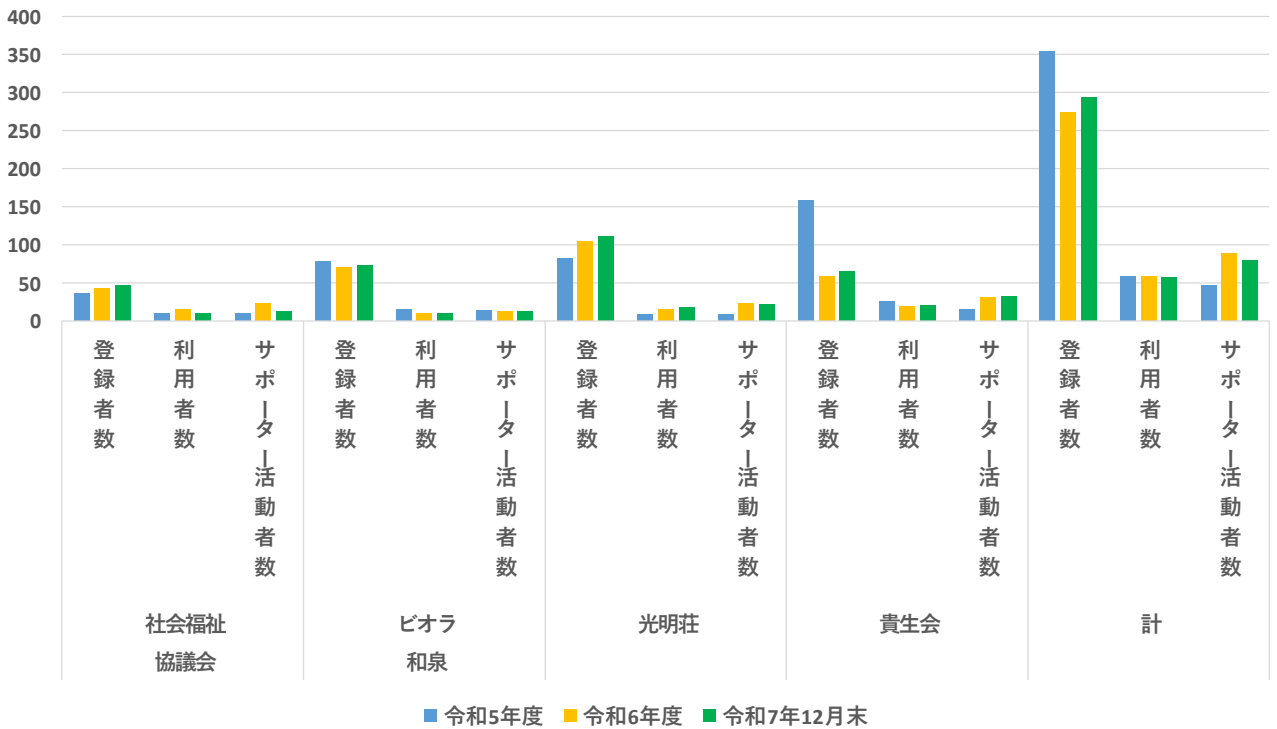
(単位：件)

	ごみ出し	お出かけ応援	買い物代行	図書館	家庭菜園	あったか訪問	合計
社会福祉協議会	3	2	1	1	2	4	13
ピオラ和泉	7	2	2	1	3	3	18
光明荘	8	5	2	0	2	5	22
貴生会	12	2	4	0	1	17	36
計	30	11	9	2	8	29	89

サポーター研修・マッチング件数



登録者数・活動者数



- おたがいさまサポーター事業について、全体の登録者数は増加傾向にあり、一人暮らしの高齢者の増加とともに本事業の活用が期待されており、引き続き周知啓発に取り組んでいく。
- 登録方法について、QRコードで電子申請も可能な運用にし、新たな人材確保に取り組んだ。